

## パワハラ対策、冊子で学ぼう

大阪の人材育成会社が、パワハラ対策としてまとめた1冊100円の小冊子が評判だ。発売から3カ月余りで目標の1万人の手に渡った。

作ったのは「アトリエエム」(大阪府吹田市)の三木啓子さん(50)。7年間、自治体の非常勤職員として被書相談に応じ、2005年に独立。企業講演などでハラメントの防止に取り組むなか、

冊子作りを決めた。タイトルは「みんな、まじめに楽しく働きたい」。縦12・5センチ、横7・8センチと携帯しやすいサイズで、当事者や労務担当者からの疑問や悩みをもとに構成した。

労災補償の状況や関連する法律、裁判事例などで現状を知ってもらい、具体的にどんな人が被害者や加害者にあてはまるかを確認するチェックシートをつけた。被

害を訴えた人をトラブルメーカーのように扱う例や、「あなたのための指導」などと励ましのつもりで言った言葉が被害者をさらに追いつめる「セカンドハラメント」の防止にも触れている。

三木さんは「企業の可能性の鍵を握るのは、人を大切にできるかどうか。組織全体で取り組む一歩として役立ててほしい」と話している。税・送料別。注文は50冊から。問い合わせはアトリエエム(06・6871・5975)。

(山内深紗子)